

平成 17 年 4 月

試験研究業務月報



左上及び右上図

液肥混入器及びかん水装置を利用した
新規薬剤の処理状況

左下図

比較のため、従来剤のかん注処理を実施
(写真提供：南丹農業改良普及センター)

トルコギキョウの青枯病防除に向けた新規薬剤の検討

トルコギキョウの生産地では、採花直前に萎ちょうと枯死を引き起こす「青枯病」の発生が問題となっており、現地から防除対策の確立が要望されています。

昨年、水に分散しやすく、かん水装置と液肥混入器で処理が可能な「クロピクフロー」が商品化されました。

現在、トマト萎ちょう病等に登録があり、今後「花き類」への登録拡大が見込まれることから、南丹農業改良普及センターの協力を得て、4月8日に現地青枯病発生ほ場で防除効果確認試験に取り組みました。

今後は、トルコギキョウを定植後、防除効果を確認します。

農業総合研究所